

#### 深川中学校だより

## 音 信 ~ \* \* \* \* \* \* \*



令和6年度 9月号 長門市立深川中学校

校訓勧等

学園目標

未来を切り拓く人間性豊かな俵山・深川っ子の育成

「生徒の姿で教育の成果をみせる。」

地域でめざす子ども像

★ふるさと長門を愛し、あいさつでつながる元気な子★自分の思いや考えを伝えられる素直な子

## R6全国学力·学習状況調查(3年)

# 国・県の平均正答率を上回る

#### 【全国学力・学習状況調査とは?】

全国学力・学習状況調査(ぜんこくがくりょく・がくしゅうじょうきょうちょうさ)は、文部科学省が日本全国で、小中学校最高学年の小学 6 年生と中学 3 年生全員を対象に、学力と学習状況の調査を目的に実施する。文部科学省が都道府県および市町村教育委員会の協力で実施する。

全国学力調査、全国学力テストなど俗称され、2007年から毎年 I 回、学力検査と学習および生活環境のアンケート調査を実施する。 Wikipedia より

### 今後の授業改善

教 科	全国(公立)	山口県(公立)	深川中
国語	58. I	58	全国・山口県平均正答率を上回る
数 学	52.5	52	全国・山口県平均正答率を上回る

#### 【国語】

問	出題の趣旨	国・県の平均正答率との比較	
1 =	資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるようには なすことができるかどうか?	下回る	

- ○15 問中 14 問で全国・県平均を上回る。記述式問題も全国平均・県平均を10%以上、上回った。
- = 分 析 = 「必要な情報を取り出す」、「表現の効果を考えて説明する」ことが十分定着できていない。
  - → 文章を丁寧に読むために、本文に線を引く、大切な言葉を抜き出すことを意識させる。
  - → 登場人物の心情を表現する際、自分でまとめたり書いたりする時間を適宜設け、作文力向上を図る。

#### 【数 学】

	問	出題の趣旨	国・県の平均正答率との比較
8 (2)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明	同程度	
	することができるかどうかをみる		

- ○16 問中15問で全国・県平均を上回る。特に、確率の問題や計算問題では、正答率が90%を超えている。
- = 分 析 = 「関数領域での説明する問題」、「図形領域」では、無回答の生徒も見られた。
  - → 式とグラフを結び付けて、数学用語を使いながら適切に説明できるように、表現する機会を設ける。
  - → 読み取った情報を図に書き込んだり、問題文に線を引いたりなどの基本的な解決手順をより丁寧に指導する。

## R6学校評価アンケート結果と考察

【実施期間】7月19日~8月5日 【対象者】生徒、保護者、地域、教職員

【目 的】生徒や保護者、地域の方々に、学校の取組について評価してもらい、みなさんにとってよりよい 学校となるよう、学校運営の見直しや改善を加えてくこと。

【活用方法】年2回(7月、12月)のアンケートを実施し、課題解決に向けた PDCA サイクルを行う。

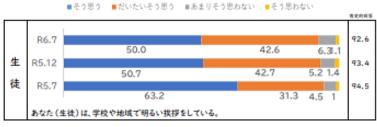
=今回の改善 多くの方に学校評価アンケートを実施していただく。

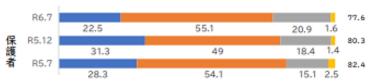
対策:生徒は夏休みでも回答できるよう WEB 方式。保護者は懇談会時に紙媒体で回答。

実施時期	令和5年12月	令和6年7月	増減
対象:全校生徒	286/306名(93.5%)	285/300名(95.0%)	1.5%↑
:全保護者	148/289名(51.2%)	187/273名(68.5%)	17.3%↑
:地域住民	42名	36名	6名↓

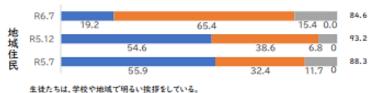
#### = 結果と考察 (抜粋)=

#### 12 あなた(生徒)は、学校や地域で明るい挨拶をしている。





お子様は、学校の内外で明るい挨拶をしていると思う。





#### = 対 策 =

結果を生徒にも公表し、肯定的な回答率が上がるよう、それぞれの立場で「何ができるか」を検討し実行する。第4回学校運営協議会では、生徒も参加する熟議を実施し、検証と更なる見直しと改善を図る。

#### = 結 果 =

- ・生徒は「挨拶をしている」意識が高い。
- ・年々減少傾向にある。
- ・生徒と教員の間に意識の相違がある。 ~アンケート記入「気づき」欄より~
- ・あいさつをよくする子とそうでない子の 地域差があるように思う。板持や河原 地域はよく挨拶をしてくれるのでうれし いです。(地域の方より)
- ・個人懇談等で保護者が行ったときに、 生徒からあいさつすることが少ないよ うに思える。(保護者より)
- ・大きな声であいさつをしてくれる生徒 が増えました。(地域の方より)

#### = 考 察 =

- ・生徒と大人との間に、「挨拶」に対する 認識に相違があるのでは?
- ・コロナ禍のマスクを付けて生活していたことで、声を発することを控えたり、 大きく声を出したりする力が低下しているのでは?
- ・不審者対応で、「知らない人には近寄らない、声をかけられても返答しない」 という指導に影響が

でているのでは?



他の学校評価アンケート結果は HP より閲覧ください。10/1より掲載いたします。